

自学力育成に向けた授業モデル（案）

		学 習 過 程	具体的発問
つかむ (8分)	課題設定	1. 導入 ☆学びの必然性「ずれのある問題」 <ul style="list-style-type: none"> 自分にもできそう。 はっきりさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 何が同じですか。 どんなことがわかりますか。 これまでの学習との違いは何ですか。
		2. 課題提示 ☆思考が深まるめあて <ul style="list-style-type: none"> こんなことが学習してみたい。(自ら学ぼうとする姿勢) 	<ul style="list-style-type: none"> ～みつけよう。 ～考えよう。 ～つくろう。
考える (10分)	自力解決	3. 見通し ☆既習事項の活用 (自主学习を生かす) <ul style="list-style-type: none"> 問題を解くための方法や手段 	<ul style="list-style-type: none"> どんな方法でできそうですか。 今までと何が違いますか。 どんな結果になりそうですか。 分かっていることを使って考えましょう。 図、表、グラフ、数直線に表して考えましょう。
		4. 自己解決 ☆言語活動の充実 ー書ききらせるー ☆「説明時における3要素」の活用 <ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てて（順序立てて） 根拠を明らかにして 相手意識をもって 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の活用 算数用語 接続語（まず、次に、それから、最後に、だから）
深める (17分)	集団解決	5. 集団解決 ☆練り合いの場の充実 ー説明しきらせるー <ul style="list-style-type: none"> 出された考えの比較 算数的活動をもとにした説明 相手意識をもった「ながら説明」ー区切りながら、指し示しながら、かき加えながら、確かめながら ペア学習、グループ学習の活用 	<ul style="list-style-type: none"> どんなことを根拠にして考えましたか。 分かっていることを基に考えましょう。 図（式）で、もっとわかりやすく表してみましょう。
		6. まとめ ☆本時のめあてとの対応 <ul style="list-style-type: none"> 児童の言葉でまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめて言えませんか。（一般化） 似ているところ、同じところはありませんか。 考え方のよかったところを言いましょう。
振り返る (10分)	適用題・振り返り	7. 適用題 ☆適用題による評価 8. 振り返り ☆「めあて」「見通し」に沿ったもの <ul style="list-style-type: none"> 分かったこと ー書くー 友だちの考えや説明の良さ 自分の考えの変容 次にやってみたいこと 	<例> <ul style="list-style-type: none"> 外にある「高さ」を中に移動して計算したら、簡単にできると分かりました。 〇〇君は説明する時に、算数用語や公式を使って説明していたので、分かりやすかったです。 ぼくは初め順々に計算していたけど、() を使ってまとめて計算すれば速くできることが分かりました。
9. 次時の予告 ☆自主的な学習へのつながり (疑問や課題を提示する)			